

東京報

刊夕日三十 (四八七第刊日新)

第四十回帝國議會 (東京)

衆議院 (時)

▲本會議

▲高木益太郎氏 (議員)

▲小島路良氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲早速整頓氏 (議員)

▲山本清次郎氏 (議員)

▲押川長吉氏 (議員)

▲最高官廳から... 衆議院の議決は、政府の責任を明らかにし、その執行を促すものである。...

獨小露講和條約

獨對露攻勢決定

露兩將軍の不和

撫順炭價調節問題

引下程度

京管課長異動

革命軍共和建設

張敬堯漢口に向ふ

東清鐵道買收風説

前土耳古帝崩御

梁啓超一派陰謀

大阪たより

生命保險不振

三島理事東上

鮮銀券發行週報

人肥協定不能

彼れ

此れ

人肥協定不能

彼れ

此れ

人肥協定不能

彼れ

此れ

人肥協定不能

彼れ

Table with multiple columns containing various news snippets and advertisements.

移住者を米國化する偉大な力
廿四箇國の子供を教育する幼稚園

○義前にて約百萬の外人が米國へ移住した、而して其の何れも米國化されつてゐる。私はローザンゼルスで廿四箇國の生徒を一格に教育する幼穉園の一教師に遭つた。教師は曰ふ「各國人共に長所がある、若し私がこれ等の子供を培養米國化さむと試みたならば恐らく私の事業は失敗に了るであらう」と

何、公園は何處に奈何にして哉、花柳界や酒屋の制限はどのるか、花柳界や酒屋の制限はどのるかといふやうなとを研究するに『母の會』でも稱すべきものがあつて假りに若い男女の奥に交際などがあるとするど父兄知らぬ間に密でその友人の方より調査し、すると會の方からよく調査した上親切な婦人の員が憂かしく同情を以て導た説

競争入札の可否

を發布したるは既報の如くなる
都府は近く此の規則に倣りて
有地の掘下げを爲すや否や明かに
せざるを將來官有地を民間に
下り下る場合ありとすれば之を
争入札に附せんとする計甚なる
は明なり都府官有地は大連城
南市に於ける一小部分を除く全

めに制定せられたるものと
得べし大連市は殆ど全部官

地にして市民は特定の契約の下
 土地の貸下げを受け居れるが近
 大連市の發展急速にして市街廣
 地は殆ど全部既に貸下げを終り

はな
 花の日本へ
 奉天通過の

年の閑散に較べると昨秋か

ならずホテルの繁昌はつまり衰へたる繁昌はつは支那方面の旅行者の増加に由るものである。戦前は格別、日本人の宿り客は主に支那在住の商人連ばかり、何分西比利亞から、上海、朝鮮とかつての要路に

多額の借地成金を生

するに至れり斯くの如く借地權の
實益は市民の慾望を刺激し土地の
借入を一種の儲事業と心得其の借
入を營業となすブローカーを生じ
此れ等のブローカーは多く皆民政
界の官吏たりし者ある者に於て夫
れ緣故を求めて運動し少からざ
る費用を拂ひて借入を爲す等の
營業を廢せり然して借地權所有者
の發見なり是迄支辨費を浪費
及び吉林省財政委員の調査の結果
給吉林の財政を確められたる近
吉林に創設事務所を設けたる三
月頃より掩護すべし

製粉事業旺盛

年際における精米及び製粉事業
一たび有利なるを認むるや一年
春來之れが計畫經營は饒々とし

民は土地所有權附與を要求して
市郡府に於ても相當時期に

於て土地所有權與の承認を爲すべく、考案中の點、今回はの前提として、裁判上、民法に由る官有土地、楊下規則を制定發布せらるゝに至れり。官有土地範圍の如何なる程度なるか猶不明せざるを以て、今假かに之れを論議する事能はざるを之れを一普通人の議論に附する事となれば其處に弊害を出し、土地の繁栄となり地價の暴落を來たし引て家賃も奔騰となり現在に於ては、租立主義の甚き迄、對付が良からぬ規費の大小を問はず又機械造の如何を論ぜず四圍所なりしを復城內、錢里、絹貨商業局増大氏は相當規模の下に機械製粉業とすべく昨今其設計準備中なり。粉事業は糖局の今日に於て有利なる言を須るざれば、戦後の製粉は如何の電能を呈すべきかは未然なると同時に一面製南浦に於て大規模の二重製粉株式行樹める大規模の二重製粉株式

金が値を問はず盛んに邦人所

有の借地林及び地上階の買物を行
 ひ居る。先き萬一一般官有土地
 の競賣を行ふに至らば之を支那人
 の要地を占めしめ邦人は彼等に驅
 逐せらるゝに至るべし思ふに官有
 土地の競賣は極めて一部分の土地
 のとまでお客さん千客萬來
 の昨今の外人入國圖略によつて
 日本官憲から既先した外人も諷く
 ないとの類。しかし德義物價千萬
 人にドンし來て欲しい。從來
 徵集者は内地に
 歸らなくとも宜い
 徴兵事務條例の施行細則改正に
 朝鮮に在る部隊の兵員を徵集
 する師團管内即ち第三第四第五第

証文によれば四月十六日の晩か

十部屋、はたのむの手紙
 ◇これが北京から来る外人観
 光團のイの一番であるさうだ、次
 きは四月廿七日から廿八日までの
 九番屋の註文、人数は確かに分ら
 ないが、毎来賓、二、三、四、五、
 般を見物して安泰線で朝鮮に出
 朝鮮ではまた京城の朝鮮ホテル
 滞在の上釜山に向ひそれからゆ
 々々櫻季節の日本を詣と嘗、此
 の向きなれば今年も觀光客は多
 少あるに可い(奉天)

だそを熟知せざる者多きが如
此の主旨は即ち多年朝鮮に居

住し氣候風土に慣れたる者及び獨に從事するの港に待策なるを思はざるべからず

▲生活の本據　とする目的　を以てて金貨移住せる者の手原を　北原此時銅を産さんとならに一歩を援給して　短待年間に内地に銅貨を運めて　朝鮮各港と大連とを通過して　朝鮮の土地と習性を海からしめる　計略を敷き　將來の銅貨を縮めたるのみならず　朝鮮の銅貨貨物を壓しては如何なるの處に影響する處少なからざる　の計時　朝鮮より輸入せらるる米、

幸福方便と云はざるべからず

大連より

○大阪商船會社の大連長崎間の定期航路は三月限り廢止される事となつた該航路の中には長崎より大連へ往航の際に群山に寄港する事に成つて居る

○群山は遼寧港に由つて産米を大連に輸出し居たるを以て航路廢止の直接影響を受ける者は長崎及び群山にして大連港には差したる

水思ひ
餘程徹底にお説く
するものと見て此
の十一日の元旦かな

是年正月も暖流そちのけ
大津から北北京に出る言

○元日から十九日までは晴
一向きば、車は走つてもよい
此の間はお客さん皆目撃有と
この面白い過激派に驚いた
パビンのホルワツト將軍は、そ

に於ける農産物の販路を失ふ者

○群山中に於ても亦鐵路の廢止は
群山大連間の直接交通を絶無とな
し大連及び滿洲奥地に對し產米の
輸出に大難挫を來たす者なりとし
同航路廢止に不賛成を咄へ居れり
○派山より大連に輸入せるる南
鮮米は近年著しく増加し去西
年度に在りては六千八百石大正五
年度に於ては八千八百石なりしが

しやうなしたるに
くもたふし
けや大にモ一度やり給へんが昨今
天では指順奉天國の電車有數間
がやかましくなつゝ然し其動力
結構だが肝心の電氣の動力が今
不足▲モンド瓦斯の第三要機
でも了らねばものにならぬ上
今の電車はまた城内の布設が行
儀むのと

は大きな打撃ならずとせず

○而しなから一方大歐船艀にては該航路は往復航共に積載貨物の廉運せる事殆ど稀にして近來の如く船繰り多忙にして運賃昂騰の際に於て不利益なる同航路に永く就

[illegible]

欺されたか、金作さへなかつたら
此方の云ふことを肯くであらう
彼は逃匿して江戸へ参り見當り次第
金作を打果してくれやうと云ふ
戀の遺恨といふは恐しいものでござ
います、川島は始終金作を狙つ
て居た内に怪しいふ騒ぎになりま
して、おそめは死んでしまひ金作
は行方知れず、然し飽走探頭が川
島字右衛門、何處ぞで出會つたら
金作を打捨て轢轢を嗜さんもの
と毎日探して居りましたが、繼なく
も常盤橋で出會ました故字右衛門
は聲を掛け、字、其處へ参るは橋本
金作ではないか」と云はれて金作
は吃驚して、金、斯く姿を變へて居
つたが、役人の目は高い、俺を金
作と知つたのか、知られて見れば
さうで」と金作は慄へながら、金
「何様様でございしましたか、字、オ
見忘れたか、誰でも無い其方に遺
恨のある川島字右衛門だ、金、是は
川島藩でございしましたか、不思議
後方から斬付け、ハツと其處
へ逃れたから刀は橋の横干へ斬
けた、金作も一生懸命刀持つ手
の、金、何でも私を殺すと云
仰るのか、字、知れたことだ、暗
取つて居りましたが、金作が奪
取らうとする刀の尖が橋端で
左衛門の咽喉へグサと刺つた、
石の字左衛門もアツと云ふと其
の字左衛門もアツと云ふと其
へ仆れて、字、貴様様を笑いたな
と立上らうとする時に金作はも
是までも思ひました故、其の刀
を直して字右衛門の胸元の邊へ
通したから字右衛門は虚空を撞
き、役人の目は高い、俺を金
作と知つたのか、知られて見れば
さうで」と金作は慄へながら、金
「何様様でございしましたか、字、オ
見忘れたか、誰でも無い其方に遺
恨のある川島字右衛門だ、金、是は
川島藩でございしましたか、不思議
後方から斬付け、ハツと其處
へ逃れたから刀は橋の横干へ斬
けた、金作も一生懸命刀持つ手
の、金、何でも私を殺すと云
仰るのか、字、知れたことだ、暗
取つて居りましたが、金作が奪
取らうとする刀の尖が橋端で
左衛門の咽喉へグサと刺つた、
石の字左衛門もアツと云ふと其
の字左衛門もアツと云ふと其
へ仆れて、字、貴様様を笑いたな
と立上らうとする時に金作はも
是までも思ひました故、其の刀
を直して字右衛門の胸元の邊へ
通したから字右衛門は虚空を撞

外科一般皮膚科
泌尿器科花柳病科
院長 安部修三
京坂永樂町二丁目金光教會醫院
安部醫院
電話四一九番

で息は絶わる、金作はホツト
吐き、金、川島を殺した上は所詮
れぬ我が命此の上は名乗つて出
行く死に就かん」と決意したた

[illegible][illegible]

○遺尿症、俗に云ふね小便の人は、
小供及び乳兒を持てる。母親は
病人、又は老人のある家庭には

男女の別あり

大人用壹圓八拾錢小兒用壹圓伍錢乳兒用壹圓送料八錢切手代用は一割増にて不
東京國谷信濃町停留場前 中西ゴム商會

前
 山
 前
 六
 八
 三

岡山醫學士 上野亮藏

醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

湖東胡蝶標白粉本舖
 湖東胡蝶標白粉本舖
 湖東胡蝶標白粉本舖

毒けし
仁丹

100

隠くし化粧にはこの打白粉をお
顔直しには理想的のお化粧料

の下さい。
います。

店 元 商
店
(380)

京城日報

日四月二 年八七二七 (西曆)

遊支偶錄

蘇峰生

遊支偶錄 蘇峰生

支那の支那の如し 蘇峰生

支那の支那の如し 蘇峰生

海外銀行の活動

美濃部武吉

海外銀行の活動 美濃部武吉

海外銀行の活動 美濃部武吉

動朝鮮銀行

美濃部武吉

動朝鮮銀行 美濃部武吉

動朝鮮銀行 美濃部武吉

濟州島民始祖

宗像神社の祭神

濟州島民始祖 宗像神社の祭神

濟州島民始祖 宗像神社の祭神

志誠吟

戊午元旦 安永

志誠吟 戊午元旦 安永

志誠吟 戊午元旦 安永

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

布施生

布施生

布施生 布施生

布施生 布施生

